

単独病床機能再編計画書

資料3-2

〔単年度版〕

構想区域	広島地域構想区域
医療機関名	医療法人あかね会 土谷総合病院

■計画概要

1. 令和2年4月1日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数	100	294				394
稼働病床数	100	294				394

※許可病床に精神病床、結核病床、感染症病床は含まない。(以下、同じ)

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成30年度 病床機能報告	許可病床	13	381				394
	稼働病床	13	381				394
令和元年度 病床機能報告	許可病床	100	250	44			394
	稼働病床	100	250	44			394

2. 再編後の許可病床数

再編(予定)時期 令和 5 年 8 月

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
許可病床数	98	253			351
削減病床数 (許可病床ベース)	▲ 2	▲ 41	0	0	▲ 43

3. 病床機能再編計画の内容、再編の影響(患者等)とその対応方針

当院の病床機能の再編として43床の削減を計画している。まず、病院、訪問看護の連携を強化するために、令和4年11月に病床を10床削減し訪問看護ステーションを開設した。更には、地域医療構想の実現に向けて、今後33床を削減し、その後のスペースに心臓リハビリテーション室等の設置を計画している。心臓リハビリテーションにおいては急性期から回復期へ状態の早期安定化に向けてリハビリを実施することとしており、このことは、地域医療構想に資するものとする。

当該病床は新型コロナウイルス感染症受入体制確保により休床しており、再編の影響は少ないものとする。

4. 病床機能再編計画と地域医療構想の関係（再編が構想の実現に資すると考える理由）

当該圏域は病床過剰地域である上、広島県地域医療構想における令和7年(2025)年必要病床数13,063床に対して、令和3年(2021)年度病床機能報告では13,180床であり、117床の過剰となっている。

また、医療機能別病床数においても、急性期の令和7年度必要病床数4,242床に対して、令和3年度病床機能報告では4,690床となっており、448床過剰となっている。

急性期病床を43床削減する当院の病床削減計画は当該圏域の地域医療構想に資するものとする。

5. 令和元年度病床機能報告から令和2年3月31日までの期間に再編を行った場合には、その理由を記載